



人権の花「ひまわり」

32

シリーズ

じんけんの絆

学ぶ機会を奪わない

子どもたちが学校や家庭などで抱える悩みや困り事を改善していくため、久留米市立の小中学校や特別支援学校、高校でスクールソーシャルワーカーとして働く小塩哲平さんに話を聞きました。

学校に行けない子ども

私たちは、子どもたちの不登校などの相談を学校の先生や保護者から受けます。受けた相談の中で、ある不登校の子どもの忘れられない事例があります。

学校から依頼され、その子の家を訪ねてみると、病気の保護者の世話をしたり、代わりに家事をしたりするために、学校に行けない状況に陥っていました。本人は、行きたい気持ちはあるけれど、保護者を放っておけなかったようです。

目を向け続ける

他にも、虐待や育児放棄などで保護者が子どもを学校に行かせていないという相談が学校からあります。子どもにはどうすることもできない家庭の事情で、学ぶ機会を奪われるのは、とても不幸なことだと思います。

保護者は、家庭の問題を知られまいとすることが多いです。その結果、誰にも頼らず、一人で抱え込むことになり、学校や地域の皆さんが何とかしようとしても、なかなか家庭に入り込めません。だから、この問題は解決が難しいのです。ただ、大切なのは、学校に行けない状況が長引かないよう、周りが諦めずに、子どもや保護者に目を向け続けること。そうすれば、時間はかかっても、きっと解決の糸口が見つかると思います。

チーム一丸で支える

不登校をはじめ、学校で起きている子どもたちの問題は、さまざまな要因が複雑に絡み合い、学校や家庭だけでは解決が難しくなっています。地域の皆さんの他、児童相談所、児童養護施設、病院や警察など専門機関との協力が欠かせません。

現在、学校、地域、専門機関、そして私たちスクールソーシャルワーカーが、一つのチームとなって子どもや保護者を支え、それぞれの事情に応じた解決策を見出していこうとしています。「この子の将来のために何とかしたい」という思いを共有し、協力して働きかけていくことで、子どもたちが安全に暮らし、安心して学べるような環境を作っていければと考えています。

☎学校教育課
(☎0942・30・9217、FAX 0942・30・9719)

平成元年生まれ。東合川町在住



久留米市美術館

とき・ひと・美をむすぶ

市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。

いつか見た夢のような、海の中の物語

ここは海の底にあるという泉のほとり。水をくみにきた女性たちの前に、見知らぬ若者がゆっくりと降りてきます。穏やかに過ぎていた水底の時間に、突如、侵入してきた人間の男。仰ぎ見る海の女性たちは、驚きととまどいで身を固くしています。兄・海幸彦の釣り針を海底に探しに行く弟・山幸彦という古事記でもよく知られた場面を題材にしながら、青木繁が描き出すのは、画家の想像力によって紡ぎ出された、見たこともない物語。日本の古代、さまざまな文学、そして、西洋絵画の神話や宗教のテーマが混然と溶け合い、まるで期待と不安に満ちた夢の中に居るようです。時代を超えて、今も私たちを魅了する青木繁の代表作を、ぜひご覧ください。【学芸員：佐々木奈美子】
☎市美術館 (☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134)



青木繁「へわたつみのいるこの宮」
石橋財団ブリヂストン美術館蔵
1907年

青木・セザンヌ・ルノワール

Plus figures jouées par chefs-d'œuvre du Bridgestone Museum

名画が奏でる 8つのスーガ
ブリヂストン美術館
コレクション展

9月9日(日)まで開催



子どもたちと、まちと、
文化の明日を元気にする

久留米シティプラザ



シティプラザの主催・提携イベントを紹介します。

だれでもワークショップ はじめての撮影と編集!!

■日時 10月9日(木) 19時～21時、14日(日) 10時30分～12時30分、来年1月上旬。3回
■会場 スタジオ
■内容 映像の撮り方、編集の仕方を学習
■料金 500円
■定員 10人・先着順
■申込開始 8月24日(金) 10時
■申込方法 氏名、連絡先、カメラやスマートフォンなど使用予定の機材、動画撮影経験の有無をファクス、メールで連絡

☎久留米シティプラザ (☎0942・36・3000、FAX 0942・36・3087)



5月に開催したくるめ演劇塾のワークショップで塾生へ戯曲指導をする様子